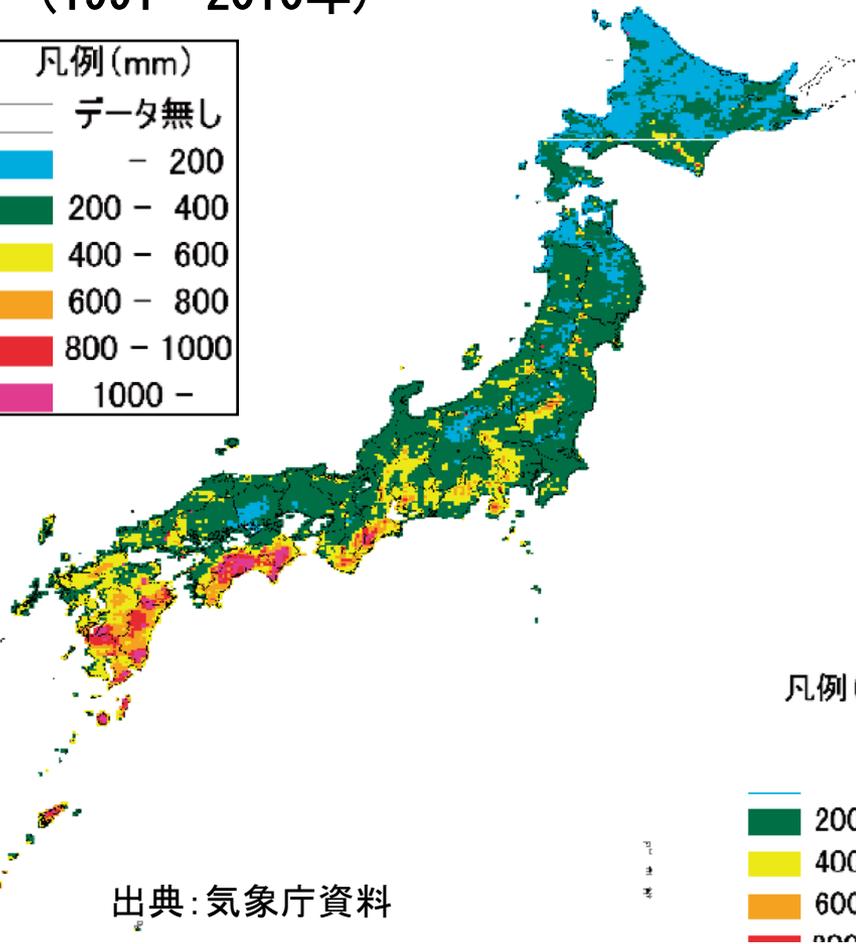
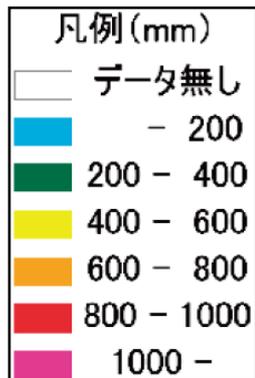


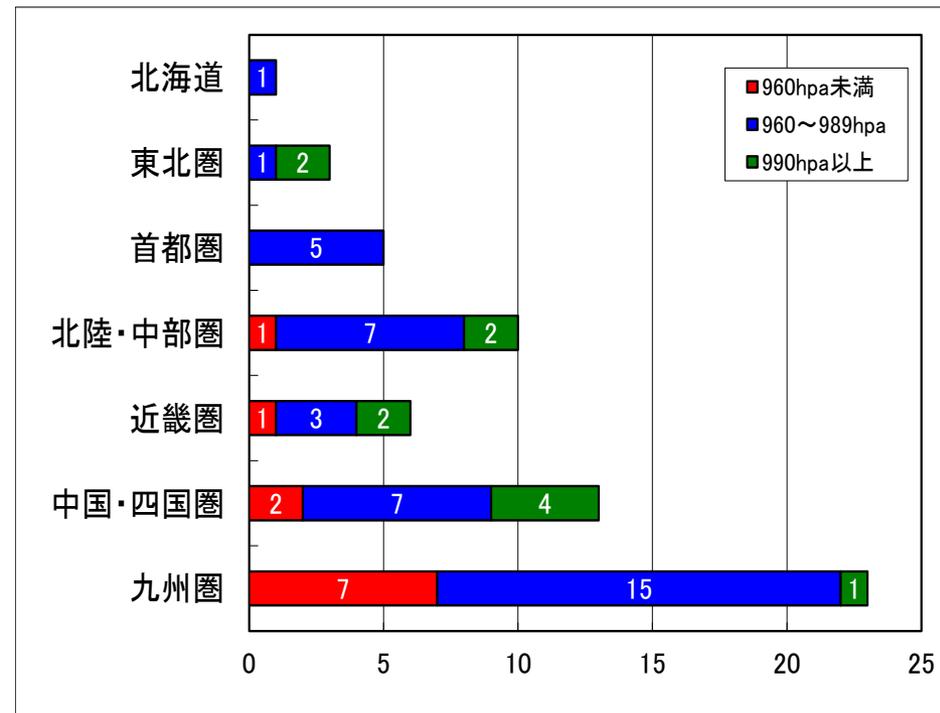
集中豪雨や台風等の被害が頻発する九州

- 九州は他の地方に比べ、短時間での降雨量が多い。
- 台風が最初に上陸し、勢力の強い状態で上陸する。

解析雨量の48時間積算の最大値分布
(1991~2010年)

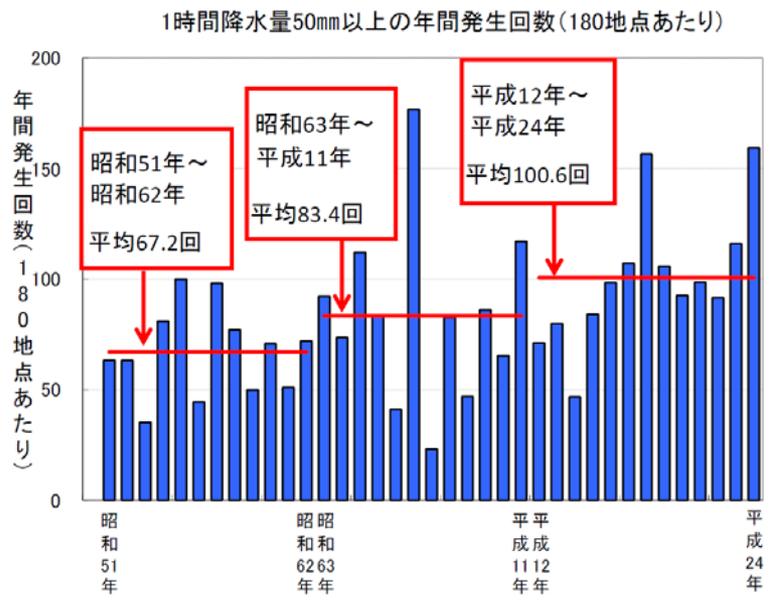


地域別台風上陸回数 (1991~2012)



出典: 気象庁資料

【1時間降水量50mm以上の年間発生回数(180地点あたり)】



統計期間: 昭和51年～平成24年

観測所数: 180地点

※九州(山口県を含む)のアメダス地点数

※1地点で複数回50mm以上を観測した場合、その回数を集計している。

(例: 年間1地点で3回、50mm以上を観測した場合、3回を集計。)

【九州における近年の主な水害の状況】

- 1: 2006年4月 六角川(佐賀県)
- 2: 2012年7月 矢部川(福岡県)
- 3: 2012年7月 白川(熊本県)
- 4: 2006年7月 川内川(鹿児島県)
- 5: 2005年9月 大淀川(宮崎県)
- 6: 2005年9月 五ヶ瀬川(宮崎県)
- 7: 2012年7月 山国川(大分県)

● : 九州北部豪雨災害